

20代
30代
40代
50代
60代
70代以降
なるほど
もっと便利
か
ライフプラン
ためるふやす
そなえる

シニア世代
60代
の皆さまへ
人生において最もお金や時間を贅沢に使える年代

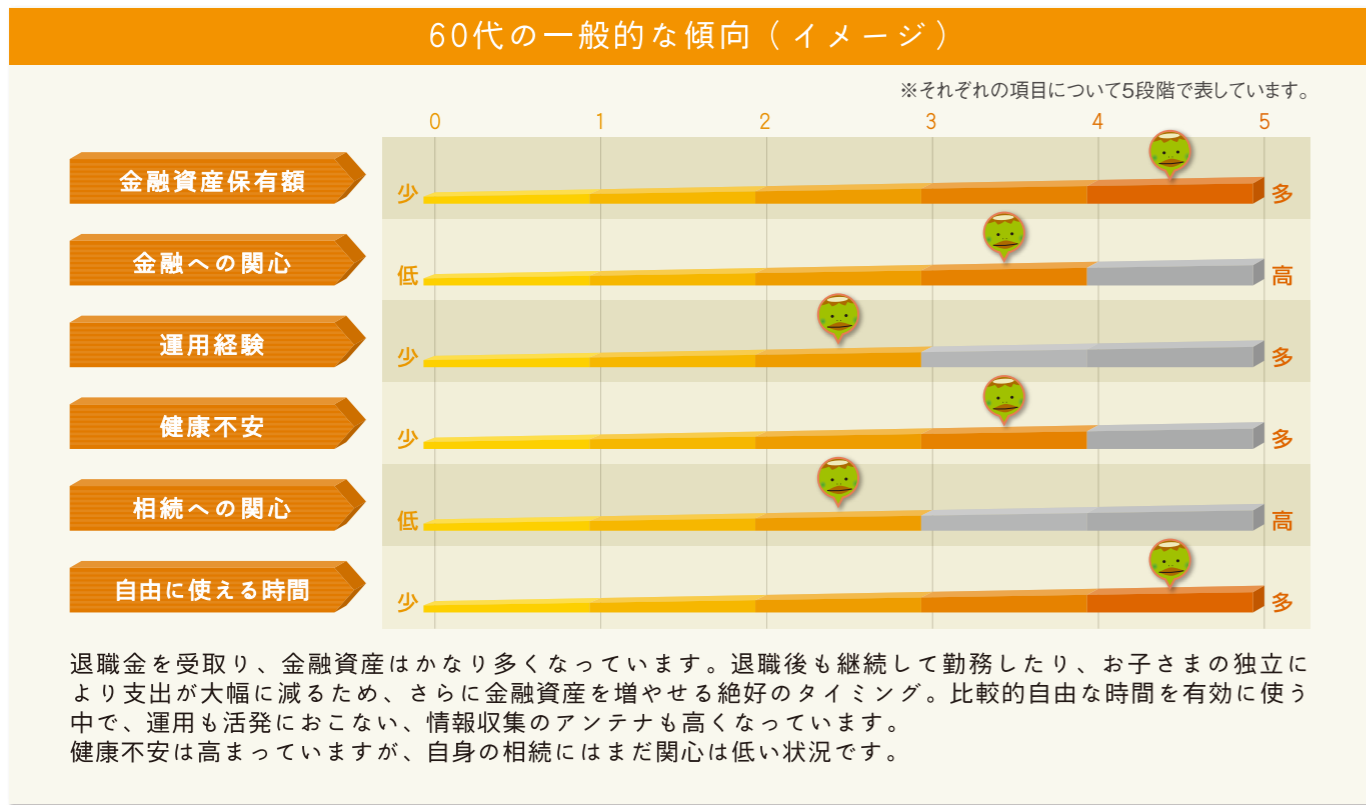
楽しく、豊かなセカンドライフを有意義に過ごしましょう。

趣味や旅行を楽しむ、
家族のために時間をゆっくり使う、
ボランティアに打ち込むなど
それぞれのスタイルで
満喫しましょう。



Question

1. 今後どんなことにお金が必要になるとお思いますか？
2. 70代でやりたいことは何ですか？
3. 景気や物価などは今後どうなっていくとお思いますか？

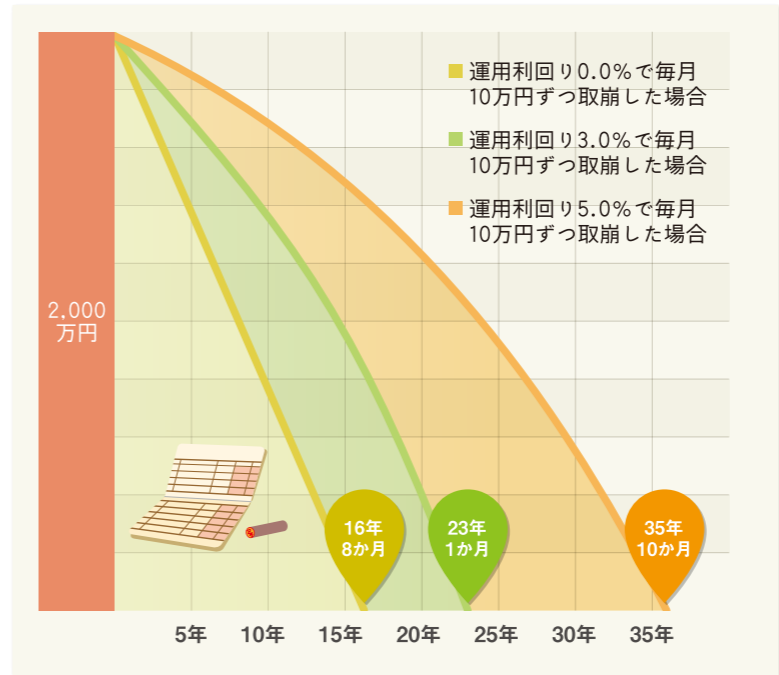


ちゅうぎんは、お客さまの「豊か」で「快適な」生活をサポートします。

できるだけ「お金の寿命」を長くする工夫をしましょう

退職金などまとまった資金でも、毎月取崩すことによって、次第に減っていきます。できるだけ資産の寿命を延ばす工夫をしましょう。

2,000万円を毎月10万円ずつ取崩した場合の運用利回りと元金の耐久年数



日本人の平均余命

年齢	男性	女性
60歳	23.55年	28.83年
65歳	19.46年	24.31年
70歳	15.64年	19.92年

平均余命とはその年齢の人が平均的にあと何年くらい生きられるかを示した年数
出所：厚生労働省「平成27年簡易生命表」

ちゅうぎんからのご案内

貯蓄
●退職金特別優遇定期預金 ●年金定期預金

運用商品
●外貨預金 ●公共債 ●一時払個人年金保険 ●一時払終身保険 ●投資信託

「70代以降の資金」を今から準備しましょう

退職金の一部を年金形式で受取っていたり、個人年金保険を受給している人は、十分な収入を確保できています。しかし、このような年金は70歳や75歳までの受給になっているケースも見受けられます。

世帯主の個人年金保険の給付開始年齢別割合

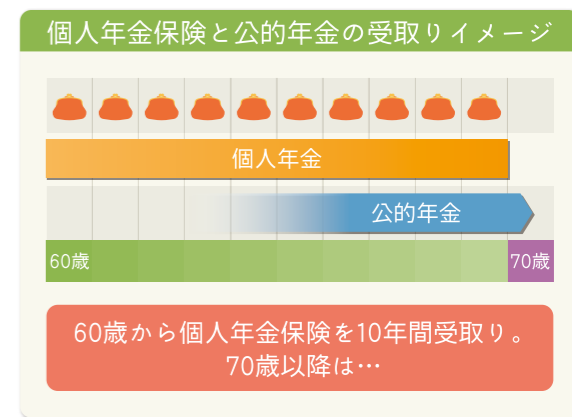
給付開始年齢	比率	給付開始年齢	比率
59歳以下	4.0%	65歳	26.1%
60歳	29.0%	66～69歳	4.6%
61～64歳	5.9%	70歳以上	8.0%

個人年金保険の受給開始年齢は「60歳」が最も多くなっています。

世帯主の個人年金保険の給付期間別割合

給付期間	比率	給付期間	比率
5年間	9.4%	15年間	6.0%
10年間	42.7%	終身	15.5%

個人年金の給付期間は「10年間」が最も多くなっています。
出所：公益財団法人生命保険文化センター「平成27年度調査結果」



ちゅうぎんからのご案内

保険商品
●個人年金保険 ●終身保険

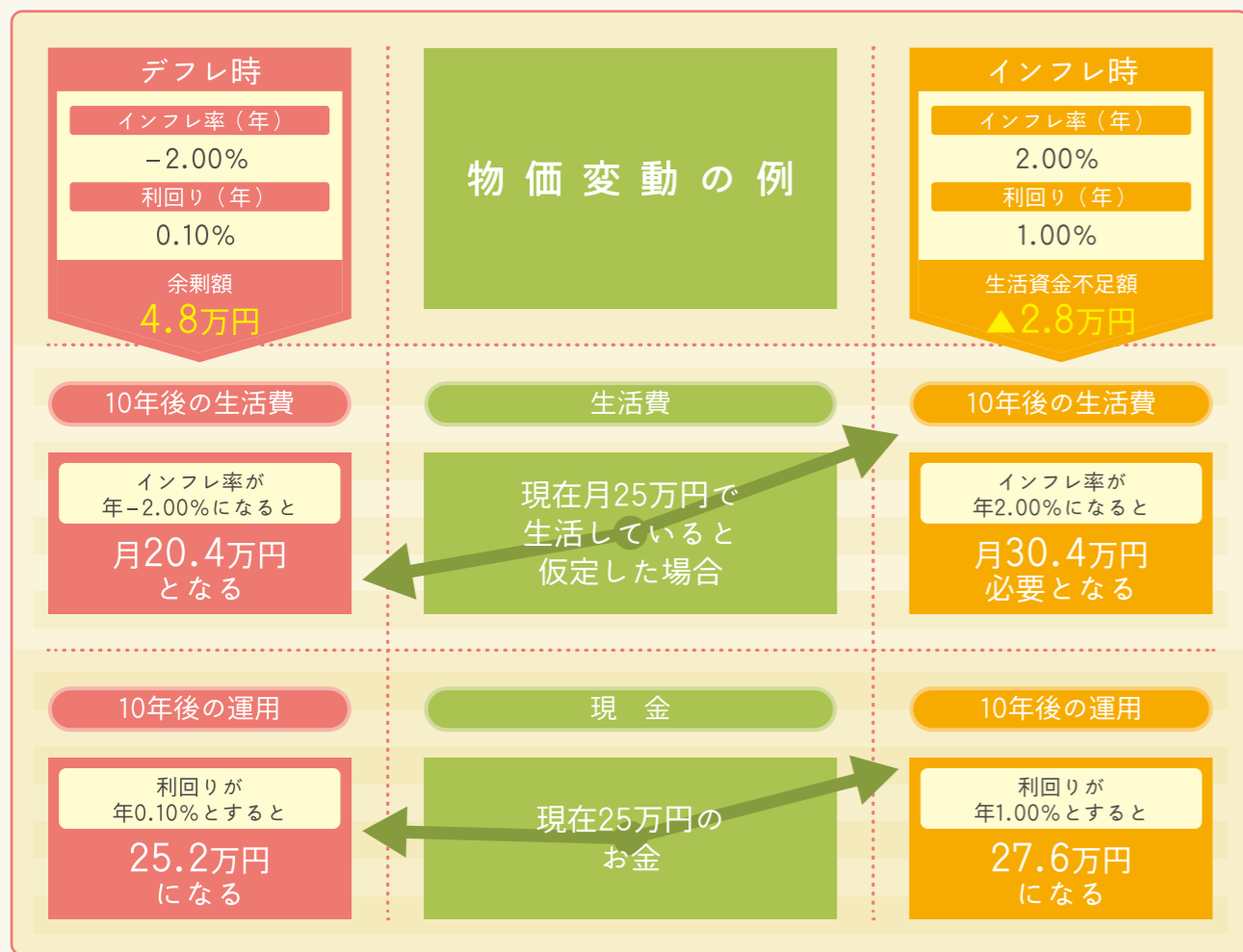
運用商品
●公共債 ●一時払個人年金保険

20代
30代
40代
50代
60代
70代以降
なるほど
もっと便利
か
ライフプラン
ためるふやす
そなえる

[インフレに負けない] 資産管理を考えてみませんか？

大切な資産を有効に活用するため、経済動向を常に意識し、賢い資産運用をおこなしましょう。

■物価変動による実質的なお金の価値の変化



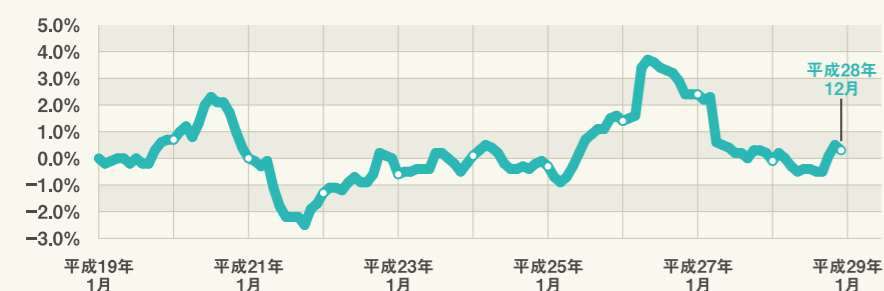
物価が上がるとお金の価値は相対的に下がります。逆に物価が下がるとお金の価値は上がります。よって、お金の実質的な価値を維持するためには、物価上昇率以上の利回りが必要となります。

例えば、インフレ率が年 2.00%、預金金利が年 0.10% の場合であれば、預金の実質的な価値は、年 1.90% 減ることになります。3,000 万円で計算すると、1年で約 57 万円分の価値が下がると考えられます。



■日本の消費者物価指数の推移

(平成19年1月～平成28年12月まで)



出所: Bloomberg

ちゅうぎんからのご案内

■運用商品

- 外貨預金
- 公共債
- 投資信託
- 一時払個人年金保険
- 一時払終身保険

ライフプランを考えるための4ステップ

まずは現状を把握し、今後のイベントや不測の事態への備えなどを具体的にチェックしていきましょう。



STEP 1

現状の確認

現在の年収

200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	60代前半の平均給与:373万円 60代後半の平均給与:311万円 <small>出所:国税庁「平成26年分民間給与実態統計調査」</small>
600～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000万円以上	
10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	

毎月の支出

10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	60代前半の平均支出額:30.4万円/月 60代後半の平均支出額:28.8万円/月 <small>出所:総務省統計局「平成26年家計調査(家計収支編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯)」</small>
30～40万円未満	40～50万円未満	50万円以上	
500万円未満	500～1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	

現在の貯蓄額

500万円未満	500～1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	60代の平均貯蓄額:2,402万円 <small>出所:総務省統計局「平成27年家計調査(貯蓄・負債編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯)」</small>
2,000～3,000万円未満	3,000～5,000万円未満	5,000万円以上	

STEP 2

今後の予定

今後のイベント

マイカー購入	マイホームのリフォーム	二世帯住宅購入	その他
お子さまの結婚	お孫さまの誕生	お孫さまの進学	

STEP 3

希望(予測)金額

70歳時保有金融資産額(希望額)

500万円未満	500～1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	70歳以上の平均貯蓄額:2,389万円 <small>出所:総務省統計局「平成27年家計調査(貯蓄・負債編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯)」</small>
2,000～3,000万円未満	3,000～5,000万円未満	5,000万円以上	

STEP 4

不測の事態への備え

保険を“みえる化”しましょう
加入中の保険の一例 黄色い部分を参考に、ご自身の生命保険加入状況について図を作成してみましょう。

